

2022年度 東京医科歯科大学医学部医学科 聴講生募集要項

1. 募集人員：各科目若干名
2. 対象科目：「感染・基礎」「感染・臨床」（但し、実習を除く。）
3. 出願資格：医学、歯学、薬学、理学又は工学系の四年制若しくは六年制大学を卒業した者（2022年3月までに卒業見込みの者を含む。）

4. 出願手続

(1) 出願受付

期 間：2022年1月11日(火)から2022年1月17日(月)（必着）

送付先：東京医科歯科大学 医学部事務部 医学教務係（3号館6階）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5120 gakumu1.adm@ml.tmd.ac.jp

※出願書類は2021年12月9日(木)から12月24日(金)までの間、上記医学部事務部医学教務係E-mailまで請求すること。

※出願にあたっては、予め科目責任者と履修の可否について相談（連絡先は開設科目のページを参照）の上、様式1の担当教員欄に署名（科目責任者が履修可能と回答したものが分かる書類の添付でも可）を受けて提出すること。担当教員欄に署名等が無い場合は、書類審査の上不合格となります。

※聴講する科目は遠隔授業（Zoom及びWebClass）での実施が前提です。パソコン、タブレット、スマートフォンなどの通信機器及びネット環境の整備は各自で対応してください。通信機器等の貸し出しは本学では行いません。

※出願書類は、書類をPDFに変換し、上記医学部事務部医学教務係までE-mailにて送付すること。

(2) 提出書類等

① 聴講生入学願書（様式1）

② 履歴書（様式2）

③ 最終学校の卒業（見込）証明書及び成績証明書

（卒業時から改姓している場合は、戸籍抄本等の証明書が必要）

④ 検定料（9,800円）

※ 下記口座に振り込み。その際、振込人氏名の前に10000と記載のこと。振込をしたことが分かるものを添付してください。なお、手数料は振込人負担となります。

三菱UFJ銀行本店 普通預金7897115 ニコリツダイガクホウジン トウキョウウイカシカダイガク 国立大学法人 東京医科歯科大学

⑤ 外国人の場合、在留資格を証明できる書類の写しを提出すること。

4. 選考方法及び結果

(1) 選考方法：書類審査

- (2) 結果：合格者の許可を受けた者には、合格通知書及び入学手続書類等を郵送
(2月25日(金)頃)する。

5. 入学等手続

下記により入学等の手続を行うこと。

(期間内に手続を完了しないときは入学及び延長を許可しない。)

- (1) 期 間：2022年3月2日(水)及び3月3日(木)
(受付時間：9時00分～12時00分、13時00分～17時00分)
- (2) 場 所：東京医科歯科大学 医学部事務部 医学教務係(3号館6階)
- (3) 必要書類(合格通知に同封する)
 - ① 誓約書
 - ② 学生証(身分証明書)発行台帳
 - ③ 保証書
 - ④ 卒業証明書(出願時に卒業見込証明書を提出した者のみ)
 - ⑤ 写真(出願前3ヶ月以内に撮影したもので上半身脱帽のもの)
縦4cm×横3cm・・・2枚(延長者を除く)
 - ⑥ 入学料(28,200円)納付証明書
 - ⑦ 預金口座振替依頼書

6. 授業料：1単位につき14,800円 納入方法は、預金口座からの自動引落しです。

7. 開設授業科目および科目の概要：開設科目参照。

8. 授業時間割：医学教務係に問い合わせること。(参考：2021年度「感染・基礎」10月19日～11月17日、「感染・臨床」8月23日～8月26日)

9. 注意事項：

- (1) 入学後の聴講科目の追加・変更は一切認めないので注意すること。
- (2) 既納の検定料及び入学料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 入学手続き完了者で授業料を納付した者が2022年3月末までに入学辞退及び聴講の取り消しを申し出て許可された場合は、当該授業料相当額を返還する。
- (4) 書類選考に用いた個人情報を教育目的以外に使用することはありません。
- (5) 書類選考結果の照会は一切受け付ません。
- (6) 本募集に係る照会

東京医科歯科大学 医学部事務部 医学教務係(3号館6階)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5120 gakumu1.adm@m1.tmd.ac.jp

科目名	単位数	科目責任者	連絡先E-mail)	概要
感染・基礎	2	山岡 昇司	shojmmb@tmd.ac.jp	<p>病原体総論では微生物の概念と歴史、細菌の分類、構造、染色、代謝、培養について学ぶ。さらに微生物がなぜ宿主に感染病態をきたすのかについて学ぶ。</p> <p>1. 細菌学 1) 総論的に細菌感染、遺伝学、薬物治療について学び、グラム陽性菌とグラム陰性菌に分けて基礎的事項を学ぶ。2) 比較的稀な微生物(ノカルジア、放線菌、嫌気性菌、梅毒、リケッチア)についても学ぶ。3) 抗酸菌の基礎的事項についての講義を通して結核、非定型抗酸菌の全体像を把握する。4) 真菌に関しても同様に講義で理解する。</p> <p>2. ウイルス学 1) ウイルス学総論ではウイルスの一般的性状、ウイルス粒子の構造、増殖、組織培養法および定量法等について学ぶ。2) ウイルスの核酸と遺伝、干渉とインターフェロン、腫瘍発生、ウイルス感染症の治療、防疫、疫学および予防について学ぶ。4) 病原因子、宿主因子、感染防御機構などについて学ぶ。5) 各論ではRNAウイルス、DNAウイルスに分けて、ヒトの病原ウイルスについて詳しく学ぶ。</p> <p>3. プリオン 蛋白性感染因子であるプリオンの性状と病原性プリオンが起こす疾患について学ぶ。</p>
感染・臨床	1	具 芳明	yogu.cid@tmd.ac.jp	臨床感染症学として、臓器横断的に考えた感染症の特徴、診断、治療および感染制御の概要を学ぶ。